

Holistic Space としての 大学博物館

—先端技術空間研究 と 和学事始め—

アッセマまどか庸代
(南山大学人文学部)

key word 【東と西の統合 パラダイム転換 文理融合型 研究法と表現法 生命場の論理
自文化としてのライフサイエンス和学・生死論・宇宙論・人間論 学問形成】

「間」や「空間」研究の視点で生命論的質的研究法と研究過程の醸成や人間形成の場の力を探る。前回 「空間の性格」で大学を生かす」大学教室観を呈した。(京都大学『高等教育研究』第8号2002) 今回は、大学博物館の空間研究の結果と「和学」提唱である。

非西欧圏において「大学 university」という西欧型近代科学的な研究学習共同体での時空間を共有して、日本の多くの大学生／大学人は、自己形成される。また、その意識活動や思考法そのものは、本来人間理解や宇宙観形成や日本的風土文明の担い手(ファシリテーター)である。Holistic Medicine, Holistic Educationは、20世紀科学技術の発展と共に全人的に補完意識をもった医学生、教育関係者の間で共有され台頭した。「ホリスティック」とは造語であり(J.C.スマッツ 1927『ホーリズムと進化』 中川米造 1990「医療の新しい流れ」日本ホリスティック医学協会編『ホリスティック・パラダイム生命のダイナミクス-21世紀の新しい医学観の確立をめざして-』 A.ワイル 1988『Health and Healing』 帯津良一他 2007『ホリスティック医学』)人の存在をかける生命概念の意識的目標や文明論的「形容詞」ともいえる。

本学人類学博物館の空間研究において、人の生活死活の実証研究や資料展示による死生の考察に繋がりやすい博物館の在り方をめざして、展示照明のホリスティックな条件設定因子を見出した。これは、人類学博物館オープンリサーチセンター博物館部会(2007~2010)として国内外の博物館及び関係者との共同研究により、大学の展示空間の照明やハイテクノロジーの導入による条件設定が実現した。人間の意識空間／心理的時空間印象を明確にすることで、考古学資料と現代大学生との関係的対話的学習空間を提案し、博物館学への期待、博物館という場の力(生命場の論理、環境と知の新たな学問形成)の可能性、大学時空間学ともいうべきパラダイムへの気づきと変換を考察する。

教育空間は「宇宙における人間の位置づけ」、人間観の仕事をもたらす。Holistic Spaceとしての西洋圏型／非西欧圏型研究空間の仕掛けが、今後の日本という大学の自文化からの学問形成を促進しうる。日本の大学という非西欧圏での西欧型研究空間において、和学は、日本の身体性 physical / 精神性 mental / 霊性 spiritual なレベルの個人 personalityへのアプローチや学術的西欧近代型医科学・生命科学の先端科学技術の知識応用を踏まえた上で、更なる自文化主体を包括しうる生命論的体系構築をめざしている。日本人の身(み)に似合う生活秩序形成には、西欧近代型科学秩序形成と科学／神学を基盤とした宗教文化秩序形成の知的再認識による区別と協働、もしくは共同研究の場の形成が有用である。

21世紀型知識構築は、科学秩序と宗教文化秩序と生活秩序形成の協働の場としての大学空間や自由な意識時空間への意識化と見直しに希望がある。(ASSEMAT, 2002 2008)

大学博物館の構想 包括視点

a) 南山大学人類学博物館 (考古学 特化)
資料収蔵/博物館/体験実習学習空間


b) ミュージアム空間構想 (共同体の自己化)
大学知の創造/コミュニケーション

c) 南山大学の伝達空間 (大学史と社会化)
チャペル/アーカイブ/大学人の創造的表現場

ユーロ圏 と クレジット圏 心の流通

- ・ ゲマール (P)
- ・ 西欧圏で東西対照
- ・ 精神的注入コミュニティによる平造り文明博物館
- ・ ケプラー(仏)
- ・ 西洋が東西洋から学ぶ
- ・ 文化対話のコミュニケーション

大学博物館(日)
西欧化圏で東西洋
研究者と地域民土



和学

Waga-ken

Sense of
of
by
for
Japanese

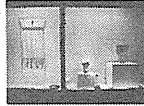
Life Science, Molecular genetics
Philosophy of Life Science
Bio ethics, Bio technology
Ethical/Life Science
Life IT
Science and Art
Art Philosophy
Innovology

Viloin 溪谷村 Eco-museum 発祥 ブリュッセル自由大学研究者とまちづくり



展示照明2008

土器大 k+s C4 l+s



形容詞のパラつき

